

第72回宮城県中学校総合体育大会弓道競技

1 日 時 令和5年7月22日(土) 9:10～ 令和5年7月23日(日) 8:50～

2 場 所 仙台市泉弓道場(仙台市泉区野村字新桂島前60)

3 主 催 宮城県中学校体育連盟

4 主 管 宮城県中学校体育連盟弓道専門部

5 大会役員

大会会長	山家 智	仙台市立広瀬中学校校長
大会副会長	鈴木 寿幸	仙台市立広瀬中学校教頭
大会副会長	村松 貴浩	仙台市立錦ヶ丘中学校教頭
審判長		宮城県弓道連盟
審判員		宮城県弓道連盟

6 競技役員

競技委員長	山口 環(多)	
競技副委員長	富岡 照美(東)	根本 一翔(東)
総務	山口 環(多)	
進行	富岡 照美(東)	畠山 治(利)
放送	生徒2名(東豊)	
召集	第2控え:根本 一翔(東)	第3控え:若生 理絵(多)
記録・計時・表彰	鈴木 美保(利) 長谷部奈乃(広) 高橋 大輔(古)	藤田 雅士(小) 小岩 毅彦(錦・PC担当)
的前審判	富岡 豊嘉(学) 大友由香利(錦) 菅原裕生武(高) 本多 裕聡(広)	
看的	生徒3名(東北学院)	
駐車場	高橋 大輔(古) 藤田 雅士(小) 朝のみ(大会開始後は外部誘導員)	
	※駐車場に外部誘導員を3名(中体連)+1名(シルバー人材センター)	
赤旗矢取り	的前審判が兼ねる	※矢取り自体は選手が行う
観客席	養護教諭1名	※もう1名は道場内

7 競技種目及び種目種別

近的競技(36cm 震的 距離28m)
女子の部・男子の部 団体競技・個人競技 射道審査

8 救護係(市内養護教諭) 7/22 () () 仙台市内中学校より
7/23 () () 仙台市内中学校より

9 競技方法

競技は全て3人立・3射場(計9人立)で行う。

<団体戦>…1チームの編成人数は3名とする。ただし、やむを得ない場合は2名でも団体と認める。

(予選)各人立射により3立12射,チーム36射を行い,的中数上位9チームを予選通過とする。同中の場合には射詰競射によって予選通過チームを決定する。

(決勝)各人座射により2立8射,チーム24射を行い,予選との合計60射の総的中数により順位を決定する。同中の場合には射詰競射によって順位を決定する。

<個人戦>…団体戦出場者はこれを兼ねる。個人戦のみの出場も認める。

各人立射により3立12射を行い,最高の中者から順位を決定する。同中の場合は,優勝決定戦については射詰競射,その他については遠近競射によって順位を決定する。

10 競技日程

○7月21日(金) 機材等搬入・準備

○7月22日(土) 会場借用時間 7:00～21:00

7:30 開場,会場準備

8:20 競技役員・監督会議

9:10 競技開始 【午前の部】女子の部団体戦予選・個人戦一回目(4射)

男子の部団体戦予選・個人戦一回目(4射)

12:10～昼食
12:50 顧問打合せ（必要に応じて的替え）
13:10 競技再開 【午後の部】 女子の部団体戦予選・個人戦二回目（4射）
男子の部団体戦予選・個人戦二回目（4射）
16:00 後片付け
16:30 完全退館

○7月23日（日） 会場借用時間 7:00～21:00

7:40 開場，準備
8:20 競技役員・監督会議
8:50 競技開始 【午前の部】 女子の部団体戦予選・個人戦三回目（4射）
男子の部団体戦予選・個人戦三回目（4射）
個人戦順位決定戦 決勝射詰・順位遠近
団体戦予選通過チーム決定戦 射詰
12:50～昼食
13:30 顧問打合せ（必要に応じて的替え）
13:50 競技再開 【午後の部】 団体決勝戦 女子・男子一回目
女子・男子二回目
女子・男子決定戦
16:00 成績発表・表彰・閉会宣言
16:30 後片付け
17:00 完全退館

11 競技規則

全日本弓道連盟「弓道競技規則」を準用する。併せて、宮城県中学校体育連盟弓道専門部申し合わせ事項を競技細則とする。

12 表彰

団体戦 男女別，上位3位までを表彰する。（優勝チームには個人賞状も授与する）
射道優秀賞を男女それぞれ1チームに授与する。
個人戦 男女別，上位6位までを表彰する。
射道優秀賞を男女それぞれ1名に授与する。（状況によって該当なしの場合や増える場合もある）

13 宮城県中学校体育連盟弓道専門部申し合わせ事項

(1) 選手交代

選手の交代は認めない。選手名簿提出後，けがまたはやむを得ない理由で参加できなくなった場合は，登録されていない選手の補充を認める。申出は，初日の監督会議の場で受け付ける。

(2) 決定戦（射詰め）での矢返し

矢返しは4矢が終わるごとに行い1本ごとの矢返しは認めない。必ず予備矢を用意すること。

(3) 服装

- ・服装は弓道着，袴，白足袋を着用することを原則とする。体操着の場合は，行射の妨げにならないように注意すること。
- ・ハチマキを使用する場合は肩の長さまでとする。
- ・女子の髪は，行射の妨げにならないように束ねること。ピンの使用は避けること。
- ・中体連弓道専門部で準備したゼッケンを右腰につけて出場すること。ただし，学校独自のゼッケンを着用する場合は，所定のゼッケンの妨げにならないようにすること。ただし，応援や控え室では，当日の天気や気温に応じた服装とする。
- ・体育着で出場する場合は，靴下は柄のない白い靴下とする。

(4) 召集について

服装・弓具点検のため，控えは第3控えまでとする。第3控えから第2控え移動時までにはそろわない選手は，その立に限り失格とする。

(5) 競技時間

競技は進行係の「始め」の合図により本座において始まり，最後の射手の離れで終わる。制限時間は『会一打ち起こし』の間合いで立射の場合は6分00秒以内とし，5分30秒の予鈴，座射の場合は7分00秒以内とし，6分30秒の予鈴で進行係が同時打ち起こしを促す。団体競技において，制限時間を越えて発射されたもの，前者を追い越して射たものは，全て無効とする。また，個人のみに出場する立ちの制限時間は設けないが，間延びしないように各自が注意すること。また，前者を追い越して射たものは，全て無効とする

(6) かけ声

射場内での掛け声や助言は禁止する。応援は縦皆中時の拍手と的中時の声掛けとする。

(7) 参加選手数

出場できる選手数について，団体戦は男女各4チーム以内，個人戦は男女各2名以内を原則とする。正式なチーム数は専門部総会において調整会議を持ち決定する。

(8) 進行について

団体戦においては男女別の進行とし、進行係は射場審判の役割も兼ねる。
※危険な行射と判断される行為があった場合、以降の行射の中止等を指示することがある。

(9) その他

【介 添 え】 設けない。競技中に的中の判定等に疑問点が生じた場合は、矢を抜く前に選手が第2控え役員もしくは進行係に申告することを認める。弦切れの場合は進行係で替弦を張ることとする。

【用 具 等】 押手碟、サポーター、テーピング等を付けて出場する場合は、監督会議で申し出ること。かけ止め(ピン)の使用は認めない。

- 【そ の 他】
- ① 大会参加生徒は、選手と補助役員生徒のみとする。
 - ② 保護者等応援は制限を付けない。なお、フラッシュ撮影の禁止を応援の保護者にも徹底させること。
 - ③ 選手保護者全員には事前に「入場証」を配付し、送迎の際は入場時に係員への提示を求めることとする。ただし、送迎の際はできるだけ短時間の停車で乗降を済ませよう、各校は保護者へ連絡すること。
 - ④ 各校へ「駐車証」も配付するが駐車台数に限りがあるため、「駐車証」の分配及び運用方法は各校に一任する。
 - ⑤ 団体戦優勝校に、第20回全国中学生弓道大会(団体戦)への出場権を与える。また、個人戦優勝者に同大会(個人戦)への出場権を与える。
 - ⑥ 近隣商業施設駐車場を使用しないよう、各校で連絡を厳に徹底すること。
 - ⑦ 選手は安全には十分配慮すること。
 - ⑧ 携帯電話などの電子機器の使用は、各学校の規定・約束事に準ずる。
 - ⑨ 会場でのゴミは、全て持ち帰りとする。

14 開閉会時の流れ

(1) 開会式

・開会宣言(部会長)→拝礼(司会)→審判紹介(委員長)→優勝杯返還→選手宣誓→事務連絡(委員長)→競技開始

(2) 閉会式

・成績発表(記録)→表彰(部会長, 記録)→拝礼(委員長)→閉会宣言(副部会長)→事務連絡(委員長)

15 大会準備について

- ・紙的の準備(40)……各校で準備(既存木枠2個+新規木枠3個)×8校 新規木枠は県新人大会でも使用
 - ・安土関係, 赤旗……………(利府・東豊)
 - ・射場内関係(表示), 座席表示……………(錦ヶ丘)
 - ・いす・机……………(多賀城・高崎)
 - ・弓立て, 矢立て, 立組表掲示……………(学院)
 - ・人工芝 カラーコーンの準備……………(古川黎明)
 - ・後片付け点検……………(各校部長・各校顧問)
- その他
- ・熱中症対策(氷嚢, 氷など)……………(各校で持参。熱中症対策は確実に行ってください。)

16 その他

(1) 災害時の対応について

災害時は、弓道場前の駐車場が第一次避難場所になる。緊急地震速報や揺れを感じた場合は、直ちに競技を中断し、安全の確保を図る。大会役員の指示に従って、駐車場に避難する。その後、状況の確認をして、場合によっては二次避難(さらに広い場所(プール前の駐車場)へ泉弓道場職員の指示で)を行う。そのため、弓道場前の駐車場への駐車は大会関係者(駐車券持参のこと)のみとする。(中断した場合は、その立の最初から競技を再開)

(2) 大会会場内での事故について

観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場など、会場周辺の事故、破損などについては、大会主催者や施設管理者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。会場周辺の事故には、競技中のボールなどの用具が車や人に直撃した場合や、風や雪、雷など、天候の影響で起こった場合も含む。

(3) 引率者及び監督について

監督、引率は当該校の校長、教員(非常勤を除く)、部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

- ① 満20歳以上であること
- ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
- ③ 他校と兼務していないこと。
- ④ 中学校体育連盟が主催する研修会を受講していること。
- ⑤ 次のいずれかに当てはまる者とする。

- ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者
- イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者
- ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことができる者。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」(※2)がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1部活動指導員の職務第2留意事項(3)(4)より

本大会に出場するチーム、選手の引率者、監督、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動中における暴力、体罰、セクハラ等により任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていないものであることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

17 立順表 〈女子の部〉

	第一射場	第二射場	第三射場
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

〈男子の部〉

	第一射場	第二射場	第三射場
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			

18 申込み

- ・ 令和5年6月21日(水)16:00までにメールにて県専門部委員長へ申込データを送信すること。
- ・ 大会申込データ原本は宮城県中学校体育連盟ホームページからダウンロードすること。
- ・ 申込データ(申込書)に使用する漢字は常用、人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。ただし、それ以外の漢字を特に希望する場合は、各校顧問を通じ下記問合せ先に相談すること。
- ・ 申込データを印刷して校長の公印が付された正式な申込書は、6月26日(月)の県中総体抽選会にて提出すること。
- ・ 申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表し、大会結果集約に利用する。また、成績上位者については報道発表並びに宮城県中体連ホームページに掲載する。記載・掲載に関して各学校で同意を確認し、同意が得られない等、事情がある場合は抽選会までに宮城県中学校体育連盟事務局(022-725-4207)へ連絡を入れること。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとす。

問い合わせ先 〒985-0841 多賀城市鶴ヶ谷1-9-1 多賀城市立多賀城中学校 山口 環 (Tel 022-365-7411 Fax 022-365-7414)
--